



論鶴羽古道の石碑を建立



▲石碑の除幕式に出席した地元関係者の皆さん

登山シーズンを前に

灘黒岩水仙郷の開園に合わせ、多くの登山客が訪れる、論鶴羽神社前に「論鶴羽古道」を示す石碑が建立されました。高さ160cmの石碑には、「論鶴羽古道」を上部に表示し、表参道（灘黒岩）と裏参道（論鶴羽ダム・牛内ダム）の入り口までの距離が表示されています。

11月23日、山開きの神事に併せ、神社役員約20人が出席

する中、石碑の除幕式が行われました。翌24日には、黒岩自治会の方により、論鶴羽古道の清掃も行われました。論鶴羽山は、平安時代から明治以前まで修験者の霊場として栄え、古道は、世界遺産の「熊野古道」に並ぶ信仰の道として、また地域の人々の生活の道として活躍。現在、近畿百名山などに選定され、登山やハイキングの道としても注目を集めています。市のホームページで、登山道のパンフレットを掲載しています。

世界に飛ばたく淡路人形浄瑠璃

淡路人形座と三原・淡路三原高校が海外公演へ

淡路人形座と三原・淡路三原高校郷土部の2団体が、このほど海外公演を行います。三原・淡路三原高校は、1月5日から10日間、フランスのパリ市とクロミエ市で公演。淡路人形座は2月10日から約1か月、アメリカとカナダの主要都市で公演します。淡路人形浄瑠璃は、国の重要無形民俗文化財に指定されており、日本を代表する伝統



▲練習に励む三原・淡路三原高校郷土部員

い」と練習に励んでいました。

昔ながらの「だるま窯」で焼き芋

津井幼稚園児が山田脩二さんと交流



▲だるま窯の前に、山田さん（左奥）と園児たち

瓦産業がさかんな津井地区では、かつて瓦を焼く小型の「だるま窯」が200基ほど点在していました。しかし近年の大量生産に伴い、大型のガス窯が主流になり、その姿が見られなくなっていました。この窯を復活させようと、昨年2月から、山田脩二さんから地元の瓦師20人が、製作を進め、昨年4月に完成させました。薪で一昼夜、焼き上げることにより、焼きムラができ、昔ながらの独特の味わいのある瓦が生産できます。山田さんは、日本を代表す

る写真家として活躍後、昭和57年から津井に移り住み、瓦師へと転身。現在は瓦業界の振興のため多方面で活躍されています。

12月3日、地元・津井幼稚園児38人を招いて、瓦を焼いた後の余熱で作った焼き芋を振舞いました。昔はこの窯で芋や餅を焼いて食べられたことがあり、ほのかに木の香りがする焼き芋は、中までしつとりとやわらかく、絶品。園児は「おいしい」と喜んで食べていました。山田さんは「産地の子どもにとって、こんな思い出も印象深く残るので」と笑顔で話していました。

を思い浮かべながら、記念号を吹き込んでいました。

広報朗読テープ300号

ボランティア活動25周年の西淡C・M・C

西淡C・M・Cは、カラオケ愛好家が集まって結成されたボランティア団体です。佐藤繁俊さん（松帆）を会長に21人のメンバーは、25年もの間、自慢の声を活かして、老人ホーム訪問や市の広報朗読テープ作製のボランティア活動に取り組みされています。広報紙の朗読では、地域の目の不自由な方々にとって、有意義な情報を選び、聞き取



▲広報を朗読し、テープに録音

冬季の農作業

レタス・白菜・玉葱

市内各地で現在、玉葱の定植やレタス・白菜の収穫、出荷が盛期を迎えています。玉葱の定植では、手植えから「移植機」を導入する農家が増えました。レタス収穫では、人手で1球ごと丁寧に収穫されたレタスを自動で包む「包装機」など、機械化による省力化が進んでいます。昨年秋には雨がが多く、野菜の植え付けに苦労がありました。12月のレタスの市場価格は良く、正月以降も農家の皆さんは、他の野菜にも期待を膨らませながら農作業に励まれています。



▲一球一球丁寧に収穫されるレタス（市善光寺）

元気な唄声響く 南淡路だんじり唄交流会

壇尻を持たない団体のだんじり唄交流「第13回南淡路だんじり唄交流会」が12月7日、10団体が出演して、今年3月に閉校する志知高校で開かれました。子どもの元気な唄から指導者の熟練の唄まで、老若男女の唄声が体育館に響きわたり、会場からは大きな拍手が送られていました。「岸壁の母」の演目で出演した志知高校郷土芸能部もOBとの共演で感情のこもった熱演を見せていました。



▲だんじり唄を熱唱する愛好グループの皆さん

おめでとう

阿部茂幸さんに全国体育指導委員功労者表彰



▲阿部さん
文部大臣から南あ

わじ市体育指導委員長の阿部茂幸さん（沼島）に、全国体育指導委員功労者表彰が贈られました。

阿部さんは、10年以上にわたり体育指導委員を務められ、淡路地区会長や兵庫県副会長も歴任。地域のスポーツ振興に貢献されています。

森崎文明さんに社会教育功労者表彰



▲森崎さん
文部大臣から社会教

育功労者表彰（青少年教育）が、森崎文明さん（福良）に贈られました。

森崎さんは、元国立淡路青少年交流の家職員で、

由井花子さんに地域文化功労者表彰



▲由井さん
永年路にわた淡

退職後も外部指導員として、海洋学習の指導と安全確保に携わり、長年にわたり、青少年の健全育成に尽くされました。

阪本栄治さんにもしびの賞



▲阪本さん
県が地域文化の向上に貢

献した人を表彰する「としびの賞」。このほど、だんじり唄指導者の阪本栄治さん（阿万）に贈られました。阪本さんは、淡路だんじり唄振興会会長や淡路素義審査会、淡路人形協会の役員も勤め、地域の伝統芸能継承に務められています。